

平成 24 年度「特別支援教育総合推進事業（早期からの教育相談・支援体制構築事業）」
報告書

団体名（受託自治体名）	秋田県
推進地域概要	推進地域名：大館市（人口：79,517 人） 保育所数：9（公立 9） 幼稚園数：8（私立 8） 小学校数：18（公立 18） 特別支援学校数（幼稚部）：0 （小学部）：1（公立 1）

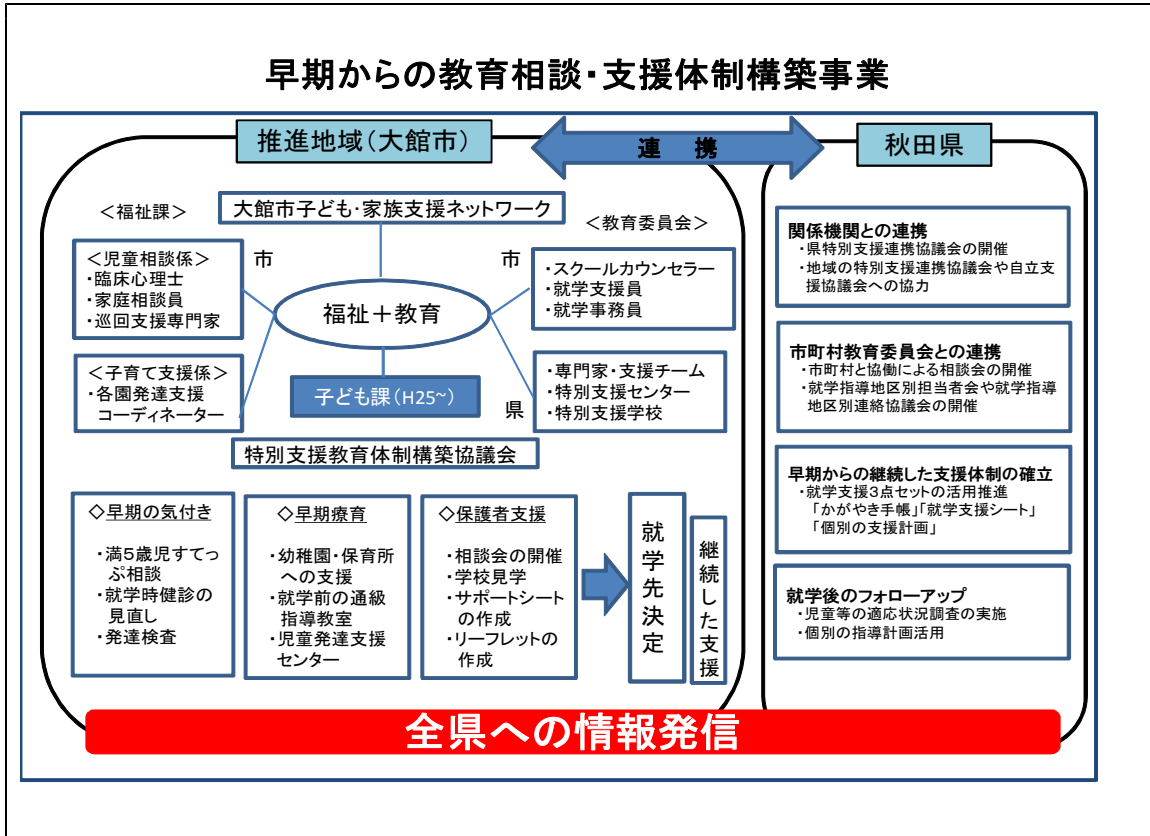
I 概要

1 事業の概要

秋田県では、早期からの教育相談・支援体制の充実のため、各地区において市町村教育委員会との共催による相談会や就学指導担当者に対する研修会を実施し、市町村の教育相談・支援体制を支援する。

推進地域においては、就学支援員を配置し、就学に向けて早期からの情報提供を行い、保護者への継続的な相談活動を実施する。さらに、就学支援員と関係者（福祉）が連携しながら幼稚園・保育所を支援したり、就学前の幼児を対象とした通級指導教室を実施したりするなど、早期の気づきを療育につなげる支援体制の構築を推進する。また、幼稚園・保育所や小学校職員に対して研修を行い、早期からの継続した教育相談・支援体制の充実を目指す。

<事業の概念図>



2 事業の成果

(県)

- ・市町村教育委員会との共催による相談会の実施により、市町村との連携が図られ、相談に関する情報を共有することができた。
- ・各地区において、就学指導地区別担当者会や就学指導地区別連絡協議会を開催し、事例発表や保護者の発表を通して、市町村の教育相談体制等の支援を行うことができた。
- ・推進地域の取組を全県に向けて発信することで、大館市をモデルとして5歳児相談会の実施等を取り入れる地域が出るなど、他市町村への普及につながってきている。

(推進地域)

- ・5歳児相談会と就学時健診を連動させることにより、関係者による情報共有がなされ、保護者への情報提供等を丁寧に行うことができ、早い時期の就学先決定に結び付いている。
- ・就学支援員の配置により、保護者への継続的な相談活動が可能となり、小学校の見学に同行したり保護者が抱える就学への不安に答えたりすることができた。また、関係者と一緒に幼稚園・保育所を訪問して幼児の実態把握や指導に関する助言をしたり、就学前の通級指導教室を実施したりすることで、就学前の子どもの育ちを支え移行期をつなぐことができた。

3 事業の課題とその解決のために必要な取組

- かがやき手帳や就学支援シート、個別の支援計画の活用推進を図るために、保護者や幼稚園・保育所、小学校等への周知の仕方を見直し、今後具体的な活用例、記入例を紹介するなどして関係者の連携を図っていききたい。
- 就学支援員を始め幼児の通級指導教室におけるスタッフの専門性向上を図っていくために、研修の機会を設定したり言語聴覚士等の専門家を派遣したりするなどして、一人一人に応じた支援の充実を図っていききたい。
- 一貫した支援のために、就学支援員等が子どもの就学後の適応状況について継続的に確認、把握できる機会を設定していききたい。追跡調査をすることで、就学前の支援体制や通級指導教室における指導に生かしていききたい。

※秋田県では、「子供」を「子ども」と表記